

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	海氷が導く熱・塩・物質のグローバル輸送
研究代表者	大島 慶一郎 (北海道大学・低温科学研究所・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、海氷の生成・融解・物質輸送がもつ機能を全球的・長期的に評価して、気候変動や生物生産への影響を明らかにするものである。具体的には、今まで作成されたことのない、海氷生産・融解量のグローバルデータセットを、衛星マイクロ波放射計データを中心に用いて、過去40年間分を作成する。研究は独自の理論、堅実な計画、高い国際的実績に基づいており、国際的、国内的に学術的に意義の大きい重要な課題である。</p> <hr/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>衛星観測データを用いた過去 40 年間分の海氷生産量マッピング研究の集大成を完成できれば、海氷の熱・物質移動のグローバル輸送が明らかになる。また、完成したデータベースは広く公開されることから、海洋における炭素吸収量の正確な算定を含めて、数値モデル研究にも貢献することが期待できる。</p>